

F-35とステルス

井上孝司著

ネットニュース媒体 ーズの第1弾
「マイナビニュース」で F-35ライトニングII
著者が2013年から連 という戦闘機のごと
載中の「軍事とIT」か のように優れているの
ら、「F-35とステルス が、一読してよく分かる。
技術」に關連する記事を 運動性能ではF-22ラフ
ビックアップし、最新情 ターに及ばない部分もあ
報を加えて加筆修正した るが、センサー、ネット
もので、「わかりやすい ワーク戦闘、それを支え
防衛テクノロジー」シリ 情報処理能力と拡張性



によって、第5世代
戦闘機のキヤッチフ
レーズ「ファースト
・ルック、ファース
ト・キル先制発見
先制攻撃」を実現

新刊紹介

可能としていることが、 が、読み進むにつれ、F
詳細かつ簡潔な文章で解 35のテクノロジーの汎
説されている。 用性に改めて驚かされ
る。

F-35の解説に始ま り、「第5世代戦闘機の ネットの人気連載なだ
戦い方」「ステルス技術 けに各項目が短く、どこ
とカウターステルス技 でも読める手軽さと豊富
術」「次期戦闘機とソフ な情報量の詰まった二冊
トウェア」と続き、最後 だ。
に艦艇とステルス技術 (イカロス出版刊、1
で締めるという構成だ 760円)

ツシマ 世界が見た日本海海戦

ロテム・コーネル著 滝川義人訳

「対馬沖海戦が私の目 程に感銘を受けた」。
を引いたのは、ずいぶん 著者は元イスラエル海軍
前のこと。当時は海軍士 少佐で、イスラエルのハ
官候補生で一見したとこ イファ大教授。
ろ、力の劣る海軍が、よ 1905年5月27日に
り有力な敵を圧倒した過 発生した日本海海戦から

約120年。ニュースが 海戦をひっくり返して分析
速報性を持ちつつあった し、世界がこの戦いをど
う評価し、その後の世界 にどのような影響を与え
たのかを明かした。
本書を読めば、自分た ちの過去を必ずや誇りに
思うに違いないとしなが らも、同時になぜ違った
方向に進んだのか疑問を 呈することになるだろう
と著者は説く。
(並木書房刊、2806
0円)



通じ、「入隊した家族が勤 務している環境などについ
て、改めて理解を深められ
た。今後も定期的に研修な
どを開催して活動の幅を広
げていきたい」と話されま
した。

高崎地域事務所では、今
後も各自自治体などと連携
を図り、自衛隊の魅力を発
信するとともに、参加者に
喜んで頂けるイベントを企
画していきたいと思いま
す。

あさぐも
掲示板

防衛問題セミナー
北海道防衛局は6月26
日、第46回「防衛問題セ



学校広報地区の小火器コーナーを見学する甘楽町自衛隊協力
族会のメンバー (2月17日、土浦駐屯地)

がんばる

植木 義人さん 61
平成27年11月、1航空隊
(鹿屋)列線整備隊23分隊
長を1海尉で定年退職。I
HIジェットサービスに再
就職し、航空機整備器材の
校正検定に励む。

IJSは、海目が運用する航空機を
整備するために使用する整備用機材の
校正検定が業務です。航空機を安全に
運用するためには、整備のための工具、
計測器が必要となりますが、海目の航
空機等整備用機材整備基準に「計測器
は、校正検定に合格し、かつ定められ
た有効期限内にあることを確認した上
でなければ航空機等の整備に使用して
はならない」と定められており、大変

重要な業務です。
私は、平成27年11月に定年退官し、
退職後の再就職先を探していたとこ
ろ、重要な業務です。
「問い合わせ」北海道防
衛局企画部地方調整課地方
協力確保室(電話011-
2721-17571)。